



議会だより

北栄

北栄町議会
42
平成28年12月

「このたびの地震で被災された皆様に
心よりお見舞申し上げます」 北栄町議会

「イチゴに託す夢」^{ドリーム}

北栄ドリーム農場 (ふるさと館東側)

27年度
決算

2特会が赤字

2

町政

ここを問う

7

議員定数は現行

18



<http://www.e-hokuei.net>

北栄町議会

検索



- 大栄庁舎管理（エレベーター設置など） 4337万円
- ふるさと北栄基金事業 3億6548万円
- 合併10周年記念事業 866万円
- 町営住宅建替事業（設計委託） 2592万円
- 生活困窮者自立支援事業 349万円
- コナンのまちづくり事業 2177万円
- 北栄暮らし支援事業 488万円
- プレミアム商品券支援事業 2015万円
- 農業振興補助金事業（梨、西瓜、ストック、ハウレン草の設備） 3838万円
- 北条砂丘農業活性化支援事業 1360万円
- 社会資本整備総合交付金事業（町道3路線の改良など） 9900万円
- 大栄中プール改築事業 1億6631万円
- 大栄体育館耐震補強事業 1億2093万円



改築された大栄中学校25mプール

質疑あれこれ

一般会計決算

- 問 前田 栄治** 町営住宅入居料の滞納者は、そのまま新団地に入居できるのか。
- 答 倉光住民生活課長** 滞納者は、新由良宿団地には申し込めないこととしている。
- 問 飯田 正征** ①別所付近の通学路に、一時停止線が消えた交差点がある。復元を。②昨夏の参議院選挙の無料送迎バス（試験運行）の利用者は、4名であった。本当に有効か。③社会教育委員会は、毎回委員11名中4名が欠席
- 答 手嶋総務課長** ①来秋の町長・町議選挙までは実施したい。その結果で、継続・非継続を判断したい。
- 問 池田 捷昭** し尿処理費が支出されているが、いつまでに下水道に接続させるのか。
- 答 吉岡地域整備課長** 非水洗世帯が約750世帯ある。加入推進に努力したい。
- 問 津川 俊仁** 学校給食会計は独立採算のため、給食費の滞納は、給食内容等に影響があるのではないが、この状況を放置していいか。
- 答 磯江教育総務課長** 毎年、収入不足額を翌年度会計から前借りする「繰上充用」処理で対応しており、当面、給食内容に影響はない。
- 問 西尾副町長** 現時点では、町からの支援は出来ない。給食事業を「公会計」に組み入れて運営する方法が考えられるが、今後の検討課題である。

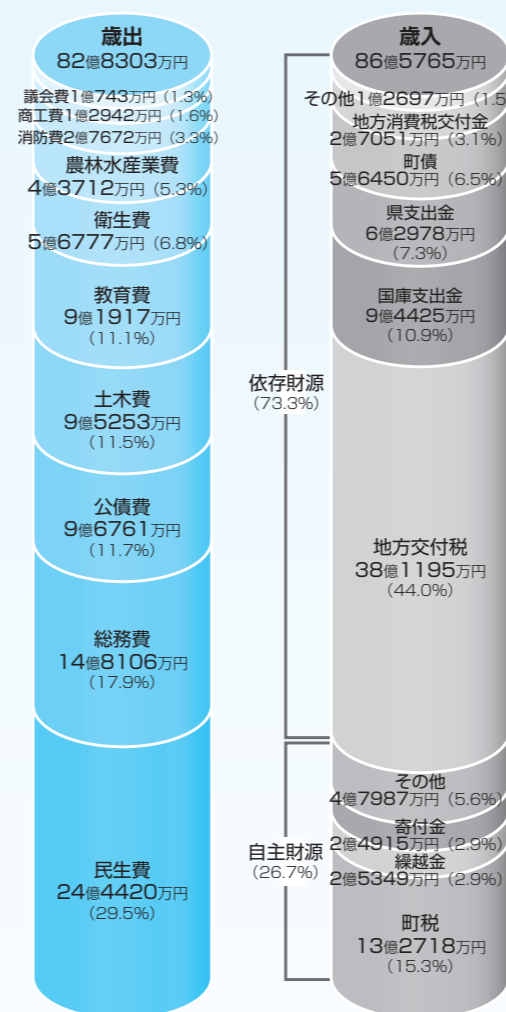
町債の残高（平成28年5月31日現在）

会計名	H26年度末 現在高	H27年度末 現在高	増減額
一般会計	842,792	812,725	▲30,067
特別会計			
住宅新築資金等貸付	1,887	1,253	▲634
下水道	1,168,745	1,124,832	▲43,913
農業集落排水	10,112	9,047	▲1,065
風力発電	52,240	36,840	▲15,400
合併浄化槽	4,849	4,679	▲170
合計	2,080,625	1,989,376	▲91,249

基金の残高（平成28年5月31日現在）

基金	H26年度末 現在高	H27年度末 現在高	増減額
財政調整基金ほか全15基金	347,722	377,610	29,888

平成27年度一般会計決算



「水洗化」が決め手
10特別会計の決算では、住宅新築資金等貸付会計と下水道会計が、引き続き赤字でした。しかし下水道会計は、管渠布設工事が終了し、わずかながら赤字幅が減少傾向にあります。今後の水洗化率向上が赤字解消の決め手になると考えられています。

一方、住宅新築資金等貸付会計は、貸付金の返済が滞り、焦げ付き状態となっており、滞納整理が急務となっています。

主な会計の決算額

会計名	決算額（単位：万円）				審議結果	
	歳入 (A)	歳出 (B)	※繰越額 (C)	実質収支 (A-B-C)		
一般会計	865,766	828,303	8,459	29,004	賛成13	
主な特別会計	国民健康保険	225,677	223,903	0	1,774	賛成13
	介護保険	163,840	161,595	0	2,245	賛成13
	住宅新築資金等貸付	569	3,907	0	▲3,338	全会一致
	下水道	127,991	127,497	1,197	▲703	賛成13
	風力発電	51,875	40,593	2,018	9,264	全会一致
	大栄歴史文化学習館	6,913	6,047	0	866	全会一致
後期高齢者医療	14,466	14,442	0	24	賛成13	

※繰越額 事情によりH27年度に実施できなかったため、翌28年度に実施することになった額。

9月 定例議会

2特会 なおも赤字

改善の兆しに 明暗

9月定例議会を、9月5日から16日までの12日間、開きました。平成27年度会計決算の認定12件や条例6件、工事請負契約など5件、補正予算7件、議員発議3件の計33件を慎重審議し、すべて原案どおり可決・認定しました。一般質問は、11人が登壇し、20項目にわたり町執行部に質問しました。

歳出80億を初突破

平成27年度の一般会計決算では、歳出が82億8303万円と初の80億円を突破しました。実質収支は2億9004万円の黒字で、昨年決算額を6285万円上回る健全財政を堅持しました。歳入では、特にふるさと納税寄付金が増え、前年比18.6%増の2億4905万円と大幅に伸びています。

「水洗化」が決め手

下水道会計は、管渠布設工事が終了し、わずかながら赤字幅が減少傾向にあります。今後の水洗化率向上が赤字解消の決め手になると考えられています。

質疑あれこれ

一般会計補正予算 (第5号)

後口谷畜産団地

問 前田 栄治
電気の工事で、部品の撤去ではなく取り換えと説明があったが、何を取り換えるのか。

答 手嶋産業振興課長
昭和53年から使用している高圧受電設備の部品に、有害なPCBが含まれていることが判明した。放置すれば破損して土壌汚染の可能性もあるので、PCBの含有量を調査するためコンデンサーの分解と部品の一部を交換する。



荒れ果てた畜産団地

いちご団地



問 阪本 和俊
私は初めから反対している。農家だけでなく多くの町民が不安視している。たとえ最初は成功しても投資が過剰になり、いちご農家の経営が維持できるか心配する。

答 手嶋産業振興課長
加湿器やLED照明やITC技術に基づく最新の環境制御装置など、いちご栽培に最適な環境を維持するための技術を導入する。

答 松本町長
栽培については実際にいちごを作っている人の指導を受け、病害虫については普及所に定期的に来ていただいている。成功に向けて官民一体となって取り組んでいる。

事例発表の旅費

問 斉尾 智弘
どっという先進事例を発表するためか。

答 田中福祉課長
トマトの会に作業所を作り、生活困窮者が働ける場所を作った。補助金を出して働く場所を作るといふ全国でも珍しい優良事例を発表する。



ドッグフード用のパンづくり (トマトの会)

感染症予防

問 津川 俊仁
B型肝炎の定期接種の感染症予防費は一般財源からの充当だが、国県の補助はないのか。将来的に続ければB型肝炎はなくなるのか。

答 吉田健康推進課長
補助ではなく交付税措置で実施する。予防接種を継続していけば、B型肝炎はなくなると思う。

大栄歴史文化学習館 特別会計補正予算 (第1号)

ふるさと館のレトロCM

問 前田 栄治
今まではコナンの番組の前にCMを流して経済効果があると思っていたが、今回はなぜコナンを放映していないサンテレビなのか。

答 手嶋産業振興課長
CM料が他社と比較し格段に安い。約20回で55万円は大きな魅力。サンテレビは大阪・兵庫で約750万世帯が視聴している。新しい来館者を開拓したい。

決算認定以外の議案審議結果

条例	内容	補正予算	その他
条例	番号法に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正		
条例	行政改革審議会設置条例の一部改正		
条例	税条例等の一部改正の一部改正		
条例	税条例の一部改正		
条例	国民健康保険税条例の一部改正		
条例	廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正		
補正予算	一般会計 (第5号)	(1億8993万円)	
補正予算	国民健康保険特別会計 (第2号)	(2558万円)	
補正予算	介護保険特別会計 (第2号)	(2280万円)	
補正予算	農業集落排水特別会計 (第1号)	(59万円)	
補正予算	風力発電特別会計 (第1号)	(9264万円)	
補正予算	大栄歴史文化学習館特別会計 (第1号)	(866万円)	
補正予算	水道会計 (第3号)	(200万円)	
その他	工事請負契約の締結 (大栄庁舎倉庫棟新築工事)		
その他	工事請負変更契約の締結 (北条体育館耐震工事)		
その他	工事請負契約の締結 (由良宿団地第1期建替工事)		
その他	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定 (公用車の交通事故)		



全会一致

由良いごも園

問 田中 精一
工事の設計段階で、倉庫の解体撤去に伴い発生すると思われる費用は考えていたか。今回計上の備品購入費は、当然必要になると予想される。あらかじめ当初予算で提案されるべきだ。あとでその都度要求すべきものではない。

答 磯江教育総務課長
その件は検討していなかった。安易に考えていた。今後はしっかりと考えて行きたい。



工事予定地に設置されていた倉庫 (矢印)

防犯カメラ

問 油本 朋也
防犯カメラはどこに何台設置するのか。それはリース契約か。

答 手嶋総務課長
JR由良駅前の防犯灯に1台設置予定。倉吉防犯協議会の対策費を活用。リースではない。

問 長谷川 昭二
録画された画像は、警察から要求があれば提出するのか。セキュリティ対策が万全でなければ住民監視になり、問題があるのでは。

答 手嶋総務課長
情報提供の要求があれば提出することになると思うが、まだ詳細は詰めていない。



防犯カメラで安心安全 (由良駅前)

ここを問う

質問分野	質問事項	質問者	ページ
選挙	投票率向上	飯田 正征	7
教育	大誠体育館の存続	油本 朋也	8
	フッ化物洗口	津川 俊仁	
	大栄中学校テニスコートの管理	田中 精一	9
	国民体育大会の会場地町村に名乗りを上げる準備	田中 精一	
健康・福祉	特定健診の受診率向上の取り組み	森本真理子	10
	国保税の軽減	長谷川昭二	
	高齢者の買い物送迎事業による介護予防	飯田 正征	11
知的障がい者福祉施設での事件を教訓とした本町の取り組み	齊尾 智弘		
農業・産業	TPP大筋合意は批准すべきではない	津川 俊仁	12
	北栄アグリフォーラム	森本真理子	13
	地理的表示 (GI) 保護制度	齊尾 智弘	
	青山剛昌ふるさと館の10周年記念イベント	齊尾 智弘	
政治・政策	下水道接続	山下 昭夫	14
	町長の政治姿勢	池田 捷昭	
	葛(くず)対策と有効活用	阪本 和俊	15
	県立美術館誘致と今後の対策	阪本 和俊	
生活・環境	瀬戸バイパスの事故防止策	油本 朋也	16
	環境施策	町田 貴子	
	耐震化における地域地震係数	長谷川昭二	17

請願・陳情の審査結果

請願・陳情件名	請願・陳情者名	採決	委員会の意見
少人数学級の推進と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるため、平成29年度政府予算に係る意見書採択の要請	鳥取県教職員組合 中部支部 支部長 茂津孝行	採 択 全会一致	将来を担い、社会の基礎づくりにつながる子どもたちへの教育は、極めて重要である。子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成・創出から雇用・就業の拡大につなげる必要があるため。 →政府に意見書を提出
TPP協定を国会で批准しないことを求める請願	農民運動鳥取県連合会 今本 潔 (紹介：長谷川昭二議員)	採 択 賛成 8	本町の重要な産業である農業をはじめとする経済活動への影響に不安と疑問が持たれる中、TPP協定の拙速な批准が行われないよう強く求める。 →国会に意見書を提出

賛否あり

TPP協定を国会で批准しないことを求める請願

賛成討論 長谷川 昭二・津川 俊仁

TPP（環太平洋連携協定）は、農林水産業や地方経済への深刻な影響、遺伝子組み換え食品などの拡大、医薬品価格の高騰、労働条件の悪化をはじめ、国民生活のあらゆる分野に多国籍企業に有利なルールを押し付けている。
さらに国の主権を侵害する「SDS（資本家対国家の紛争解決）条項の弊害も明らかで、国民の暮らしを破壊し、貧困と格差を拡大させる。

反対討論 齊尾 智弘・山下 昭夫
森本 真理子

TPPは、アジア太平洋地域に巨大な経済圏を創造し、幅広い分野で新たなルールを構築することにより、わが国の輸出が拡大し、経済再生や安全保障に資するものと期待されている。
農林水産分野について、不安や懸念を払拭するため、政府は「総合的なTPP関連政策大綱」を決定し、農畜産物の重要5品目を中心に、対策を着実に実行しつつあり、むしろ国際競争力のある産地づくりへの絶好の機会である。

賛成議員

浜本 田中・前田・町田
阪本 飯田・長谷川・津川

採択

賛否あり

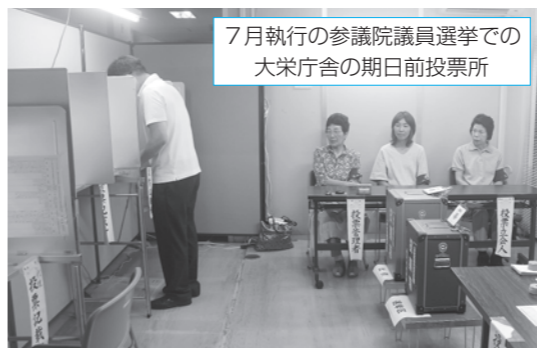
参議院選挙の合区の見直しに関する決議

反対討論 長谷川 昭二

本決議は、「単に人口多寡に関わらず、地方の意見を国政に反映できる仕組みを構築すべきであり、合区を見直して都道府県単位による代表を国政に参加することが可能な選挙制度とするよう要請」とあるが、これは、正当な民意の反映を求める参政権の観点から、問題である。
投票価値の平等を保障するという観点から、参議院の総定数の削減は行わず、多様な民意が反映される比例代表中心の選挙制度にすべきであり、本決議に反対する。

賛成議員

浜本 田中
池田 山本
前田 森本
宮本 町田
齊尾 阪本
油本 飯田
津川 田本



7月執行の参議院議員選挙での大栄庁舎の期日前投票所

採択

※詳しい内容等は、HPに掲載しています。

投票率向上

車内で期日前投票を

選委長 当面は今のままで

飯田

先に実施された参議院選挙の十八、九才の県内市町村の投票率が発表され、本町は県平均を下回った。原因と今後の取り組みは。投票所を統合したことで、交通弱者、高齢者等は投票に行きたくても行くことができないなどの不満が多い。現在の対策としての無料バス運行は利用者が少ない。今後は車内で投票できる移動式期日前投票所をどうするか。

選挙管理委員長

今回の選挙で、高校生については昨年度から県と町の選挙管理委員会が共催で選挙出前講座を行っており、町でも町内2校で3回実施したところである。

策では出張期日前投票所を開設し効果があった。当面送迎バスと出張期日前投票所を組み合わせ投票率を向上させたい。車内で投票できる移動式期日前投票所は、検討していきたい。



公民館前の表示柱



飯田 正征

すみやかに全面改修を

町長 まずは教育委員会で議論

教委長 早急に検討する



田中 精一

田中

大栄中学
校のテニ

スコートは4面のうち、まともにも使用できないコートは1面のみで、残りの3面は荒地状態。さらに、雨が降ると大きな水たまりができ、数日間、使用できなくなり、部活動に支障をきたしている。水はけ対策のための路盤改良等の時期に来ているのではないかと、すみやかに全面改修されたい。



水がたまったコート

教育委員長

日々の整備は、使用者が行うが、水はけが悪い点は、対策を講じなければならぬ。部活動のためにも、常に整備されたコートは必要であり、早急に教育委員会で対策を検討する。

町長

特に水はけの悪い部分はコケのような草が生え、滑って危ないようだ。今後の対策としては、まずは教育委員会の議論を待ちたい。

存続を前提に再考を

町長 廃止の方針に変更はない

教委長 通常の維持管理はする



油本 朋也

油本

町長は過去この体育館について「大幅な改修はせず、通常の維持管理の範囲で修繕をし、可能な限り使用を続けていく」という見解を述べているが、どこにどのような不具合が生じた場合を使用の限界と考えるのか。施設の現状を正確に把握し、利用者の声に応え存続を前提に、大規模改修を含め維持管理のあり方の再考を願いたい。

町長

廃止の条件となる大規模改修とは、屋根・床・壁など構造的に重要な箇所での抜本的な修繕に高額経費が伴う場合と考える。利用希望の声もあり点検等で危険を確認しながら可能な限り利用したいが、簡易な修繕で危険が

教育委員長

大誠体育館の劣化は承知している。周辺住民や利用者から修繕の要望があれば、指定管理を受けている北栄スポーツクラブがその都度、照明器具・戸・窓・水回りなど通常の維持管理の範囲で必要な対応を行っている。今後は施設の点検を強化し、専門家の意見も交えながら、使用の限界について判断したい。



存続が求められている

効果と今後の方針

町長 こども園で効果あり

教委長 小・中学校での実施を検討

津川

昨年度から四、五

歳児のフッ化物洗口が行われているが、その効果と今後の方針は。本年度より、湯梨浜町では小学校に導入され、週1回実施されている。本町の小・中学校における導入は。

町長

由良こども園では、保護者が同意した児童に先行実施している。

実施率の高い中部の市町は、県内で5歳児の虫歯罹患率は低い状況でありフッ化物洗口を行うことは有効ととらえる。すべての園で実施したい。その効果をさらに伸ばすためにも、小・中学校での実施に期待している。



虫歯の治療中

教育委員長

小・中学校への導入については、委員会として議論をしていない。実施にあたっては、保護者や教職員に有効性・安全性を説明し、理解を得、検討を進めていきたい。

手を挙げる準備は

町長 知事の意向を注視

教委長 まだ意向調査はない

田中

「わかとり国体」

を開催してから、はや31年が経過した。その国体も二巡目の未内定県は、残り7県となってきた。近々に、鳥取県も国体開催の意思表示をする時期では。県からの意向調査があったからでは、会場地町村としての意中の競技種目は射止められない。今から手挙げの準備を進めるべきだ。県から意向調査があったか。本町は、どの競技種目を担当したいのか。

町長

知事は「任期中に国体開催に方向性を示す」とのことであり、注視しながら検討、準備に入りたい。本町として受け入れたい競技種目は、既設の施設や財政状況を考慮しながら、開催可能な種目を希望したい。具体的には、考えていない。

教育委員長

現在まで国体に関する意向調査は届いていない。併せて県に照会したが、現時点で実施予定はないとのことであった。



バドミントン会場となった由良育英高の大体育館（昭和60年）

高齢者の買い物

送迎で介護予防

町長 生活支援サポーターで



飯田 正征

飯田

高齢者を自宅から町内のスーパーマーケットまで送迎し、サポーターの介助を受けながら自身が買い物を楽しめる「介護予防事業を開始してはどうか。すでにボランティアで高齢者をスーパーまで送迎している人がいる。今後の対応は。」



楽しい買い物 (東宝ストア由良店)

町長

本年度より日常生活支援総合事業の取り組みを一年前倒しで始めた。この中で高齢者の生活支援介護予防サービスの担い手育成のため「ほぐえい支え愛協議体」を設けた。今後送迎や移動販売車等の協議を進め、実施に向けて取り組む。このようなサービスの担い手となっていたら、ボランティア「生活支援サポーター」の養成も進め、支援サービスが切れ目なく提供できるように、積極的に取り組みたい。

健康ポイントラリー

町民の認知度は

町長 まだ低い



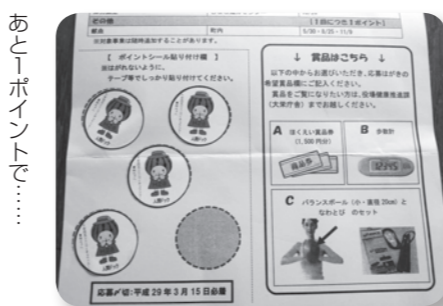
森本 真理子

森本

受診率向上の取り組みとして、自治会表彰制度や今年から、ほぐえい健康ポイントラリーが始まった。町民の認知度はどうか。また、保健師はどんな取り組みをしているか。

町長

昨年度の特定健診と大腸がん検診で、受診率が高かった上位3自治会と前年度と比較して受診率が上回った8自治会を表彰した。ほぐえい健康ポイントラリーは、町が行う健康づくり事業に参加すると



あとポイントで……

ポイントがたまる。それを歩数計やバランスボールと交換するもの。申し込みがまだ少ないので、今後広報等にさらに力を入れていく。保健師は、乳幼児から高齢者まで、住民の健康相談の窓口である。自治会で開催する健康講座や出前講座を通して住民に親しみを持ってもらい、信頼される身近な相談者になるように努めたい。

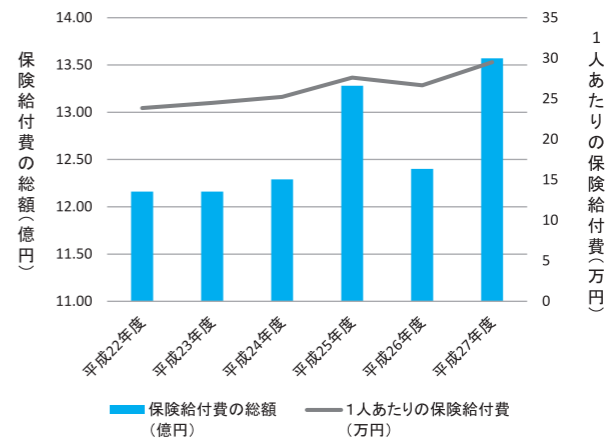
長谷川

今年度の国保会計の收支改善が見込まれる場合、来年度の国保税の軽減を図るべきである。

町長

近年、一般会計からの赤字繰り入れが続いていることから、平成28年度には保険料の改正を行い、国民健康保険事業の運営の健全化を図って

いる。しかし、医療の高度化や高齢化に伴い、一人当たり医療費は右肩上がりが増えており、不確定要素が多く、今年度も一般会計



長谷川 昭二

からの赤字繰り入れが必要となると見込んでいる。收支の改善がみられた場合、平成29年度の予算状況により繰り越すか、平成30年度以降の運営に備えて基金に積み立て、安定的な国保事業の運営を図っていく。

国保税

收支改善で軽減

町長 事業の安定運営を

障がい者施設の安全 どじょうやうって守る

町長 対応マニュアルの作成

斉尾

神奈川県相模原市の障がい者福祉施設で46人が死傷するという事件が発生した。以下の点について伺う。
①不審者対応マニュアルの作成と訓練
②重度障がい者が安心して暮らせる社会(システム)作り
③精神障がい者が危険な存在との誤解を招かないような啓発活動



県厚生事業団運営の羽合ひかり園

町長

①マニュアルは、県が県立障がい者施設のもので、それを参考に町内の福祉施設でも作成を検討してもらおう。また、警察に協力をお願いし、訓練の実施を呼びかける。
②第4期福祉計画に、福祉施設入所者の地域生活への移行促進に取り組むことを明記している。
③町報など、いろいろな方法で啓発を進めよう。



斉尾 智弘

町政ここを問う (健康・福祉)

町政ここを問う (健康・福祉)

農産物のブランド化

GI保護制度へ登録

町長 取り組む



齊尾 智弘

齊尾

農産物のさらなるブランド化を推進するため「大栄西瓜」「北条砂丘ぶどう」などを、*地理的表示（GI）保護制度に登録すべきだと考える。

※地理的表示（GI）保護制度は、農産物の名称を知的財産として保護する制度

町長

本町では大栄西瓜の保護制度取得に向けて動き出しており、概ね申請書はできているが、提出には至っていない。

また「砂丘長芋」や「ねほりっこ」「北条砂丘ぶどう」なども、登録にむけた話し合いをしていただけという取り組み。



津川 俊仁

TPP 協定

批准阻止の運動へ

町長 行動を起こす考えはない

農委員長 相当の覚悟が必要

津川

現在のTPP大筋合意は、地方・農村・農業を壊す恐れなき内容である。批准すべきでないと思う。批准阻止に向けて、町長、農業委員会会長として反対の意思表示を行い、批准阻止の運動を展開すべきである。

町長

TPPに対して、批准の阻止にむけた行動を起こすことは考えていない。すでに政府は、TPP等を踏まえた経済再生や地方創生に直結する取



コメにも影響が

農業委員会

組みをスタートしている。本町でも「農業振興基本計画」の実現と、地方版総合戦略の実行に取り組み、地域の収益力強化等攻めの農業を推進し、TPPに負けない「強い農業」の実現に取り組む。現時点では協定の内容も開示せず、誠意ある言葉も聞いていない。農業者の理解はもとより、不安を払拭するに至らず、将来が見えない中、賛成とは言えない。反対運動を展開するには相当の覚悟が必要である。

町政（こ）を問う（農業・産業）

町政（こ）を問う（農業・産業）

北栄アグリフォーラム

今年度の開催は

町長 決定した

農委員長 みんなで取り組み

森本

今年度の北栄アグリフォーラムは「今年は取りやめたら」という意見もあった。実行委員の一部は出鼻をくじかれ、やる気を喪失したという。北栄アグリフォーラムの意義と今後の方向性は。



森本 真理子

町長

意見の真意は「より良いものを作り上げていくためには、十分な議論が必要であり、隔年開催にして、もっと素晴らしいアグリフォーラムにしようか」という内容である。その後、議論の結果今年度の開催は決定した。町民一丸となって、町

農業委員会

全体を盛り上げていけるフォーラムとなるよう、実行委員とともに進めていきたい。情報収集と発信をすることで共に地域農業やそれぞれの農業経営を考え、意識啓発の場になればと提案し、始まった。町民みんなで取り組めるフォーラムであればよい。



昨年度好評だった「なんちゅうえがなコレクション」

ふるさと館の10周年

大規模なイベントを

町長 盛りだくさんに実施

齊尾

青山剛昌ふるさと館は平成29年3月18日、開館10周年を迎える。この機会をとりえ、大規模なイベントの開催は。

町長

本町の観光拠点を広く発信する機会として、町全体で盛り上げていく。新たなブランドファイナーとして、屋内型プロジェクト、屋外型プロジェクトを導入する。また、ふるさと館南側の外壁にオリジナルイラストの装飾を施す。新たなプロンズ像や切手シートの作成も検討中でありミニコンサートも



にぎわう青山剛昌ふるさと館の入口

厄介者を町の宝に

町長 相談あれば支援

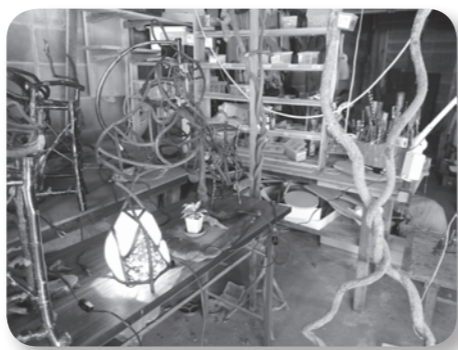


阪本 和俊

阪本

葛は近年異常に繁殖が目立ち、国道・県道・林道・遊休農地・空き家まで覆いつくしている。

そこでその厄介者を町の宝に変える取り組みはどうか。葛のつるを使った「和紙あかり」や、花を材料としたお茶、根塊から取れるくず粉を使った簡単なレシピを添えてふるさと納税の一品に加えば、都会の人たちに喜ばれるのではないかな。



葛のつるで作った和紙あかり

町長

葛だけでなくどんな農作物でも、新たに商品を開発し実際に販売し、さらに利益を追求し、その事業を継続させることは、非常にハードルが高く覚悟が必要だ。

商品開発や販売戦略には、6次産業化の専門家との十分な協議や、テストを重ねることが必要だが、町としても住民が行う活動について、相談があれば必要な支援をしたい。

阪本

6月の構想検討委員会

の会議録を検証した。一部の委員の鳥取市へ誘致を前提とした動きかけで事業費や規模の縮小が行われ、入館者目標も20万人から10万人まで引き下げるなど言語道断である。北栄町は交通アクセスが有利なはず。世界が求める、世界に唯一の漫画をメインとした美術館の誘致に向け、直ちに行動を起こすべきでは。

町長

今までに絞り込まれた

四つの候補地に残ったが、交通アクセスの悪い評価に憤慨している。県民の移動手段は車が主である。当地は国道9号からとても分かりやすい。ふるさと館へのコナン客も美術館へ取り込んで行く。思いは議員と一緒だ。西部の県議にも北栄町の優位性を訴え、水面下でなく正々堂々と誘致を進めたい。



美術館の候補地（旧運転免許試験場跡地）

下水道接続

費用負担が大変

町長 従来どおり



山下 昭夫

山下

平成28年度下水道

事業特別会計予算では、一般会計からの繰入金で6億8824万円、地方債は112億4832万円となっている。このような状況下、汚泥の減容化を含め、どのような財政の健全化を図るのか。また、排水設備の新設や改修はすべて各世帯、事業所の負担となるため、接続に費用がかさみ大変であるが方策は。

町長

公債費は平成27年度が

9億3551万円で償還のピークである。汚泥の減容化は、業者へ努力を促す。平成26年度に12・7割の値上げを行い、3年後の29年度に値上げの予定である。財政健全化に向け、下水道使用料審議会において調査、検討を行っている。新規接続は平成27年度で90世帯が工事を行い、現在の水洗化率は87%である。接続助奨を引き続き、従来どおり進めたい。



下水道の宅内工事

町長の政治姿勢

北条と大栄は違う

町長 一つの町として捉えている

池田

北条地区が合併

前より、賑わいと活気がなくなった。田井地区の商業施設誘致の決断がなかったのが大きいと考える。北条地区の住民が生活する上で、衣、食、医療機関の利用は倉吉、羽合地区であり、大栄地区とは違う。この認識がまちづくりの原点と考えるがどうか。

通算4期の町長として、中部を大きな視点で捉えては。

町長

北条地区の地域振興

は行う。候補地だったところは、農用地に組み入れていないので、開発の可能性はある。北条、大栄という視点ではなく、一つの町として取り組んできた。タクシー利用助成券の見直しを行う。広域でできることは広域でやってきた。各市町が中部を元気にし、地域でできることは地域でやっていく。



池田 捷昭



商業施設のかつての候補地（田井）

県立美術館の誘致 直ちに行動を

町長 正々堂々と進めたい

地域地震係数

耐震化の基準を高く

町長 町施設は1.0で診断



長谷川 昭二

長谷川

熊本地震では、避難所に指定されていた多くの学校の校舎や体育館が地震で損壊するなどして使用できなくなった。

耐震化したのに大被害を受けた学校もあり、その原因に、国が定めた「地域地震係数」があると指摘されている。本町の現状と対応は。

町長

国は全国の地域を1.0から0.7までの範囲



耐震改修が完了した大栄体育館

熊本地震で指定している。鳥取県中部は、0.9だが、鳥取県耐震診断等評定委員会が基準値である1.0を用いることを推奨していることもあり、本町の施設は1.0を用いて診断した。基準を高く設定すれば安全性が高まるが、それに伴い相当な費用が必要となるといった課題もある。

熊本地震の状況を踏まえ、国段階で今後どのような議論が展開されるのか注目していく。

瀬戸バイパス

今後の事故防止策は

町長 一層の注意喚起を



油本 朋也

油本

今年度中に全線開通が予定される瀬戸バイパスだが、3年前の部分開通以来、東園のJR踏切方面から瀬戸に向かう町道とバイパスの交差点などで、車両の衝突事故が多発し終息の気配はない。



交通事故の多発地点
写真左側が東園のJR踏切

町長

これまで交差点手前に差点事前に交差点警戒標識や注意喚起の看板を設置し、一時停止標識を点滅式の自発光式にするなど、必要と思われる対策を講じた。

町田

環境保全の取り組みに「北条町環境基本計画」が策定されている。10年間の成果と課題は。



町田 貴子

町長

基本計画の中では、望ましい環境像を「人と自然が共生し、あたたかい心のふれあうまち北条町」と定め、様々な施策を展開してきた。町民や事業者の環境施策への理解と協力により順調



リサイクルステーション（北条庁舎横）

環境施策 基本計画の成果と課題

町長 順調に計画は達成

に計画は達成された。環境施策の推進については、出前講座、環境関連のフォーラムの開催等により、環境問題への町民の関心を高め、理解が進む取り組みを効果的に実施していきたい。

追跡 あの質問はどうなった？

【平成27年12月定例会】
ふるさと納税を3億円に

問 【飯田議員】

ふるさと納税（寄付）額の新たな増加策として、寄付者を招待したイベントや先進市町村の優良事例を参考に、寄付額目標を3億円としては。

答 【町長】

ポイント制の導入を考えている。お礼の品として、新たに魅力的な企画ものや品物を選定し、寄付額アップを図っていく。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 【10月末現在】
寄付額	666万円	8699万円	2億4905万円	2億3198万円



鳥取・岡山共同アンテナショップ新橋店で開催された「北条町ふるさと納税感謝祭」（平成28年10月8日）



野菜料理研究家のカノウユミコさん（東園出身）を講師に、「ねばりっこ」を使った料理教室も実施。

一般会議を開催しました

町政全般にわたる諸課題について、議員と団体等が自由に意見を交換しました。

問 外国人旅行者は体験型観光を好む。町内の空き施設を使い農業体験をさせるなど、誘客方法はないか。

答 グリーンツーリズムは受け入れ体制の整備が

※インバウンド

問 今後、24時間見守る体制づくりを1市4町で検討していく。

答 長寿命化が進んでいる中で、60歳までというのは時代に合っていない。65歳はいいことだ。

問 見守るための方法はないか。

答 必要。簡単ではない。※インバウンド＝外国人旅行者を日本へ誘致すること

独居老人

問 「コナン通り」観光客が利用できる施設がない。

答 観光客が利用できる施設がない。

人間ドック

昨年引き続き2回目の開催。今回は健康意識の向上や介護の問題を含めた町への要望など、幅広い意見が交換された。

北栄町男女共同参画推進会議

7月7日 中央公民館大栄分館

推進会議会員14人

その他の意見

- ①受診率向上のために努力してほしい。
- ②在宅介護をしている人にも経済的支援を。
- ③訪問介護、訪問医療、ヘルパーの充実が必要。
- ④独居老人が買い物難民になっている。タクシー券の存在や、その申請方法を知らない。他町が実施している移動販売などの方法を、本町は取り入れる考えはないか。
- ⑤女性団体にポイント制の宣伝を。
- ⑥自治会の健康推進員の努力に期待。
- ⑦未受診者への対策を。
- ⑧保健師の姿が見えない。もっと自治会のサポートを。
- ⑨在宅介護をしている人にも経済的支援を。
- ⑩介護に疲れた時に相談できる窓口がほしい。



女性の視点で活発な意見を交わす

委員会の活動報告

議員定数・報酬等の特別委員会

次期選挙は現行15人で

報酬据え置き・政活費なし

10月13日、第5回特別委員会を開催。定数と報酬は現行どおりとし、政務活動費は継続協議とすることを、全会一致で確認しました。正式決定は、12月定例会に提案される同委員会の最終報告の審議に委ねられます。

議員定数

少数ながら「削減すべき」との意見もありました。しかし、これ以上削減すると、多様な町民の意向が町政に反映されなくなる恐れがあり、現行15人が必要最少限との意見が圧倒的で、定数は現行どおりと確認しました。

議員報酬

報酬が低すぎて、若人や現役世代が立候補を躊躇（ちゅうちゅう）する傾向にあり、「議会活性化の足かせとなっている」との

政務活動費

認識で一致しました。しかし、現状の経済状況を考慮すれば、報酬の引き上げは町民の理解が得られないとの判断で、据え置きと確認しました。

常任委員会

改選後から①現行の3常任委員会（総務・産業建設・教育民生）を2常任委員会に再編する②広報広聴常任委員会の定数を、現行の6人から12人に変更することについて、今後検討することにしました。

理解は得られないとの結論に達し、当面、制度化しないこととしました。今後、使途の範囲や支給方法、チェック機能等の懸念される事項を検討することとしました。

議会運営委員会

タブレット端末導入で先進地視察

8月1日、日南・江府

町議会を視察しました。タブレットはパソコンでもスマートフォンでもなく、まったく新しい移動式情報通信手段として注目され、議会として導入に向け調査しました。議案の作成から送付までの作業が短縮でき、過去の資料の保存や持ち運



タブレットの操作方法を説明する江府町議員

びも可能です。

しかし、紙の資料を全てなくせるわけではなく、ペーパーレス化という点では、費用対効果はあまり期待できず、今後の課題も残ります。導入は、執行部と同時にすべきと考えます。

北栄町観光協会

7月8日 中央公民館大栄分館

観光協会会員9人

外国人観光客が増加し、その対応に追われている現状の説明があった。

観光案内所

問 多言語対応の案内所を目指しているが、英会話のできる職員を配置できないか。

答 英会話のできる人材は大事だ。

まち歩き

問 由良宿内を歩く人が少ない。町なかに蘭ちゃん像を設置すれば、それを探してまち歩きされると思っ

答 足りなければ町へ要求すべきだ。

ガイド不足

問 今の職員数では休日観光客が多すぎて、対応が間に合わない。

答 ボランティアガイドの養成を提案したが進んでいない。

運営費

問 協会としては自立しようとして努力しているが、観光パンフレット作成などの経費が多くなる。

答 自分たちでやっていくという考えが大事だ。役員だけでなく、会費を巻き込んで事業をやるべきだ。



新しいコナン像に観光客の人だかり(由良駅前)

なかよし 兄弟姉妹



松原 ^{さき}沙姫さん 小4 (右)
 松原 ^{しよた}匠汰くん 小2 (左)
 松原 ^{かんじ}寛治くん 5歳 (中央) (大谷)

3人とも叔父さんの影響で、柔道を習っていて、試合にもでています。
 この8月から新しい家も建ち、大谷の住民となり、近所に友達があり、行き来しています。
 沙姫が図工、匠汰が体育、寛治はお肉が好きです。それぞれ個性を発揮して頑張っていてほしいです。



椿 ^{あやこ}彩子さん 小3 (右)
 椿 ^{あすか}飛鳥くん 小1 (左) (国坂浜)

休日や学校から帰ったあと畑に行き遊んだり、家の中でも外でも、姉弟で仲良くバドミントンをして遊んでいます。
 将来、大人になっても必要なときは互いに相談したり助けあったりして、仲のいい姉弟でいてほしいと願っています。



知っとななる？こんな北栄

にやでんせつ 新屋伝説 隆光寺 (松神)



昔、松神の新屋という豪農に大山の牛市で一番と言われた牛がいた。子牛が生まれたが心ない人達によって殺生された。親牛は怒り狂い浜道をまっしぐらに北に走り、ついに海に身を投じて死んだ。それ以来、不幸がおこり新屋は衰微していった。
 のちに、子孫が牛をあわれみ、霊を慰めようと隆光寺内に塚を建てられた。

仲齒科医院前の一等水準点 (由良宿二区)



町内には、蚺ヶ家山山頂の一等三角点をはじめ数多くの基準点が存在する。仲齒科医院前に「建設省国土地理院 水準点」と表示した鉄蓋を発見。現存する町内5箇所の一等水準点の一つで、鉄蓋の下に金属製の標石が埋められているらしい。自然流下の原理により維持している下水道管渠では、正確な高低差が生命線とされ、その工事に必要な大切なマークである。

編集後記

青山剛昌ふるさと館に
 来場する県内外の観光
 客、また、町民が待ちに
 待っていた飲食物販の集
 合店舗が出会いの広場
 (旧運転免許試験場跡地)
 に来春オープン予定で
 ある。9月1日に竣工式
 を迎え、本格的に動きだ
 した。

観光客の利用はもちろ
 んだが、町民が気軽に立
 ち寄り休憩できる店、そ
 して、いつまでも愛され
 る店であってほしい。
 名探偵コナンの魅力を
 発信する聖地として、ま
 た、町の商業の活性化に
 むけ、大きな期待をして
 いる。(森本真理子)

発行責任者 議長 井上信一郎
 編集 広報広聴常任委員会
 委員長 田中 精一
 副委員長 油本 朋也
 山下 昭夫
 森本真理子
 宮本 幸美
 齊尾 智弘